

令和5年度指導員研修実施方針

各研修の概要

1 階層別研修

新任若しくは採用後一定期間を経過した指導員又は新任の訓練課長等のリーダーなど、それぞれの階層の指導員を対象として、職業能力開発の基礎、訓練業務のフォローアップ及びリーダーに必要なマネジメントの知識及び能力を習得します。

2 一般研修

多様化する職業能力開発業務を遂行する上で生じる課題等の解決のヒントや必要となる知識及び能力を習得します。

3 訓練技法開発研修

職業能力開発ニーズの多様化・高度化が進展する中、職業訓練を効果的かつ効率的に実施するための訓練技法や教材開発に関する知識及び能力を習得します。

4 技能・技術実践研修

指導員の専門分野及び専門分野を含む複合・横断的な領域における知識、技能及び技術の向上を図るとともに、その専門分野を効果的に展開する方法等を習得します。

5 テーマ別研修

専門分野に係る知識、技能及び技術の更なる習得あるいは専門領域の拡大を目指し、教材開発等の研修テーマを職業大の指導教授等と協議のうえ設定し、自らが主体的に研修を実施します。

6 実践派遣研修

多様化・高度化する職業能力開発ニーズに対応するため、指導員を企業、研究所、大学等に派遣し、企業では、コスト意識・経営的なものの見方やその実践を学び、また、研究所、大学等では、高度な技術や最先端の専門知識等を習得します。

7 オーダーメイド型研修

各都道府県および各職業能力開発施設における研修受講機会の充実を図ることを目的として、都道府県および各職業能力開発施設からの要請に基づき、講師を派遣又は、オンライン等により現地施設にて研修を実施します。

令和5年度研修コース設定の特徴

1 レディメイド型研修

都道府県や職業能力開発施設等へのヒアリングや民間教育訓練機関を対象としたアンケート調査、また、研修アンケート等から得られた研修ニーズやP T U教員が技術革新や社会環境の変化からシーズを汲み取り提案する研修を設定しています。

特に、D X・G Xに対応した研修コースは P43、第4次産業革命に関連する研修コースは、P44～47 にまとめていますので参考にしてください。

2 オーダーメイド型研修

都道府県や職業能力開発施設の課題に応じて、テーマや研修内容、日程等を相談しながら設定します。

また、ご要望が多いコースや新規コース等は「カリキュラム事例集」として公開していますのでコース設定が容易にできます。令和5年度は、「学生募集戦略のたて方（カレッジ対象）」など、新たなモデル研修カリキュラムを用意しています。

3 指導員の能力の体系化

「指導員に必要となる技能・技術要素の明確化、体系化等に関する調査研究」（P T U 基盤整備センター、平成29年度）の成果を踏まえ、一般研修及び訓練技能開発研修は「指導員の共通能力の体系」に、技能・技術実践研修は「指導員の技能・技術の体系」に基づきそれぞれ研修コースを配置しました。

特に、A IやI o TなどD X・G Xや第4次産業革命に対応する研修、基礎的I Tリテラシーの指導や訓練コーディネートに必要な研修などの設定及び拡充に努めています。

「指導員に必要となる技能・技術要素の明確化、体系化等に関する調査研究」、「指導員の共通能力の体系」及び「指導員の技能・技術の体系」について、詳しくはP26の「指導員の能力体系」をご覧ください。

4 通信活用型研修

法令により総研修時間は12時間以上となっていますが、「集合型の研修時間が取れない」などのご意見を踏まえ、集合又はオンラインによる研修時間は総訓練時間の20%以上で実施する通信活用型研修を設定しています。「通信活用型対応コース」は研修計画総覧の受講区分欄に、「通信活用」と明記していますので参考にしてください。

5 総研修時間の弾力化

研修内容により4～5日間のコースを設定していますが、長期間の受講が難しい方のために、2～3日の2コースに分割し、連続又は断続的な受講を可能としたコースを設定しています。